

氏名	若林チヒロ	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生活科学、健康社会学				
学位	修士（家政学）				
学歴	お茶の水女子大学家政学部家庭経営学科卒業、お茶の水女子大学大学院家政学研究科修了				
経歴	埼玉県立大学社会福祉学科助手、埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻講師、准教授、教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本エイズ学会（代議員）、日本保健医療社会学会、日本社会福祉学会、日本疫学会、日本アフリカ学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	公衆衛生マニュアル2020 第13章 健康づくり	共著	あり	南山堂	若林チヒロ著、柳川洋、中村好一編	2020.3
1	公衆衛生マニュアル2020 統計資料	共著	あり	南山堂	若林チヒロ著、柳川洋、中村好一編	2020.3
2	基礎から学ぶ健康管理概論（改定第5版）第4章人口静態統計	共著	あり	南江堂、P53-60	若林チヒロ著、尾島孝之、堤明純編	2020.3
3	基礎から学ぶ健康管理概論（改定第5版）第5章人口動態統計	共著	あり	南江堂、P61-83	若林チヒロ著、尾島孝之、堤明純編	2020.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	急性期病院における自殺未遂者情報の把握に関する実態と地域連携プログラムの改善点の評価	共著	あり	日本臨床救急医学会雑誌、P680-688	篠原純史、若林チヒロ、梅崎薫	2019.9
2	HIV陽性者の子どもを持つことへの思いと医療機関における相談・情報提供の実状	共著	あり	日本エイズ学会雑誌、22巻第2号	細川陸也、井上洋士、戸ヶ里泰典、阿部桜子、片倉直子、若林チヒロ、大木幸子、山内麻江、塩野徳史、米倉佑貴、大島岳、高久陽介	2019.8
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	日本におけるアフリカ系移民と家族の生活	単独		第56回日本アフリカ学会学術集会、京都	若林チヒロ	2019.5
2	日本人HIV陽性者におけるストレス関連成長の実態とその特徴	共同		第33回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本	戸ヶ里泰典、井上洋士、高久陽介、大島岳、阿部桜子、細川陸也、塩野徳史、米倉佑貴、片倉直子、山内麻江、河合薫、若林チヒロ、大木幸子	2019.11
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省研究費補助金挑戦的萌芽研究			アフリカを生きる日本人のライフヒストリー（代表）	研究代表者	2016年度～2019年度
2	文部科学省研究費補助金基盤研究B			HIV陽性者の肯定的対処と<生>再構築を促す統合的Web支援ツール開発と評価	研究分担者	2017年度～2019年度

3	厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業 H30-エイズ-一般-004）	地域においてMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策 研究分担研究「HIV陽性者の健康と生活に関する実態調査」	研究分担者	2018年度～2020年度
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	健康情報リテラシー 1	○	15	情報の収集と提供の基礎について
2	健康科学Ⅲ（健康社会論）	○	10	社会的健康、健康と社会とのかかわりについて
3	健康政策論	○	15	政策、健康関連の政策について
4	健康行動科学入門 1		1	健康行動科学の一領域紹介
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	課題別演習 1	○	15	少人数でのゼミ、ディスカッション
2	課題別演習 2	○	15	少人数でのゼミ、ディスカッション
3	卒業研究			卒業研究
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	グローバルヘルス（北京大学）	○	2019.4-2020.3	北京大学短期交換留学プログラムのコーディネーター、交流
2	IPW実習(科目担当)		2019.4-2020.3	IPW実習の準備、地域担当
3				
4				
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	健康行動科学専攻 4 年次生	2019.4～2020.1	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	在日アフリカ人の暮らしとその当事者団体：日本の市民社会との関係を考える	国際開発学会 「人の移動と開発」研究部会	「アフリカ系女性の来日背景と生活」	2019.4
2	HIV感染予防啓発イベントakta Talk Show	NPO法人akta	「HIV感染がわかってからの治療と暮らし」	2020.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本学術振興協会	文部科学研究費補助金審査（学術公表：図書・データベース）審査員		
2	一般社団法人日本家族計画協会	研究倫理審査委員会 心理社会領域審査員		2019.4-2020.3
3	日本エイズ学会	代議員		2019.10-
4	日本エイズ学会学術集会	日本エイズ学会学術集会口演座長 長期療養（社会部門）		2019.10
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	アフリカ系ネットワーク	特定非営利活動法人等 設立準備会	2019.4-
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	国際交流活動	北京大学との交流、短期交換留学対応		2019.4～2020.3
2	大学広報活動	高校訪問、高校教員対象説明会、オープンキャンパス等		2019.4～2020.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		